

クラス	108	担当教員	よしだ なおみ 吉田 直美
			人との関わりを通してニーズに気づき、理解し、そして動こう
	著書・論文 研究課題等		『必携 社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目編 2016』（共著） 「災害時要援護者と福祉避難所の一考察」日本福祉大学経済論集第 47・48 合併号 2014 年 3 月 「ドウシテダレモタスケラレナカッタノカ？」日本福祉大学経済論集第 54 号 2017 年 3 月 近年の関心事：対人援助、コミュニケーションのあり方、介護職の人材育成、防災問題、電話相談

## ゼミナール概要

キーワード： コミュニケーション 気づき 共生 地域

### ◆専門演習 I～IVを通しての目的

「他者との関わり」を通じて、他者と、そして地域と「共生」することに向き合うことで、自分の果たすべき役割に気づき、自分なりの新しい生活環境をつくっていきけるようにすることです。

### ◆専門演習 I～IVを通しての目標

1. 「聴く」「話す」「読む」「書く」といった、基本的なコミュニケーション能力を身につける。
2. 他者に関わり、地域に関わることで、「現場」でのコミュニケーション能力を磨く。
3. 自分の関心事を明確にし、自分なりに考えた行動ができるようにする。

### ◆授業内容・方法

1. 1分間スピーチorレクチャー、フィードバックのトレーニングを適宜行います。
2. 基礎知識を身につけるため、必要に応じて適宜文献・資料を輪読します。（レジメ作成）
3. 東海キャンパスの周辺地域の探索、地域への理解を深めるために、具体的なテーマを決めての取材&記事その他のコンテンツを作り、発信する予定です。
4. 地域を中心とした施設見学、イベント参加、ボランティア体験など、キャンパスから出て「現場体験」をし、そこから何を学んだのかをゼミで共有、そして外にも発信する予定です。

\*2016年度：学祭での子供向けの企画作成・出店、絵本の読み聞かせ、わくわく科学教室、福祉施設等での行事支援などのボランティア体験、東海市産業まつりでの防災コーナーとしての出店&シールアンケート実施、東海市の避難所設営訓練参加、大田川駅前オープンカフェ企画参加など。

その他：自分の興味関心あるテーマを探し、それに能動的に働きかけながら、学んでいく場にしてもらっています。担当教員は、学生の学びについての側面的支援の役割を果たすものと認識しています。

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
現時点では未定	<p><b>当ゼミをエントリーしていただくにあたっての注意事項</b></p> <p>① 土日、長期休暇中等、正規の授業時間以外でのキャンパスから出での活動や、グループ作業が入りますので、①<b>バイトその他の活動が忙しく時間調整ができず、授業時間外の活動への参加が困難な人</b>、②<b>積極的に様々な人と関わりたくない人は、エントリーをご遠慮ください。</b></p> <p>② 人として最低限のコミュニケーションとる努力ができないと、信頼関係が築けません。<b>無断欠席や、課題提出をスルーする人はご遠慮ください。</b></p> <p>③他者を決して排斥せず、自分も他者も活かし、活かされる関わりを心がけられる人を大歓迎します。</p> <p>③ 上記①～③を了解した上で、それでもエントリー希望される人は、必ず事前に mail で「何を学びたいか」or「自分が取り組みたいこと」について、2000字以上のレポートを作成し、アポイントとった上で、事前面談を受けてください。</p>